授業科目	＊助産診断・ケア学Ⅰ（妊娠期）					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	前田　幸、山田　恵、新郷　朋香						
授業概要	妊娠期の助産診断のためのフィジカルアセスメント及び妊婦と家族の心理・社会的側面からケアに必要な知識を解説し、演習により安全・安楽をふまえた助産技術の習得ができるよう支援する。						
授業形態	講義・演習			授業方法	ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．妊婦のケアに必要な基礎的知識について説明できる。 2．妊娠の健康状態を正常および正常からの逸脱について根拠に基づき説明できる。 3．妊婦に必要なケアの習得において主体的に取り組むことができる。 4．倫理観をもち妊婦のケアを安全・安楽に基づき実施できる。
理想的レベル	標準的レベル１～3 を達成したうえで、知識や思考・判断についてはより詳細に根拠を踏まえた説明ができる。 フィジカルアセスメントについては、より正確な知識や技術が身についている。また、身体的・心理的・社会的のアセスメントに基づいてより的確な保健指導ができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	再試験は筆記試験にて評価します。
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	個人ワーク・クループワーク、プレゼンテーション、演習への取り組みについて評価します。
レポート外の提出物	10%	講義・演習中の記録物に関して評価します。
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	MI21201J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：講義内容について予習し、まとめる。 復習：該当部分の復習を行う。	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：妊娠期のケアの理念/特徴　（前田幸） 妊娠による母体の変化と胎児の成長/発達 演習① 模擬妊婦体験

第2回	テーマ：妊娠期の助産診断とケア（１）（前田幸） 妊娠による母体の変化と胎児の成長/発達 ・妊娠期の経過診断、胎児発育・健康状態の診断 ・妊娠期のフィジカルアセスメントとケア
第3回	テーマ：妊娠期の助産診断とケア（２）（前田幸） 妊娠による母体の変化と胎児の成長/発達 ・妊娠期の経過診断、胎児発育・健康状態の診断 ・妊娠期のフィジカルアセスメントとケア
第4回	テーマ：妊娠期の助産診断とケア（３）（前田幸、新郷朋香） 妊娠期の保健指導　（G.W） 演習①’ 模擬妊婦体験の共有（ディスカッション） 気づきと妊婦への支援について考える ・妊娠期の経過診断、胎児発育・健康状態の診断 ・妊娠期のフィジカルアセスメントとケア ・妊娠期の心理的・社会的変化 ・マイナートラブルのアセスメントと支援 ・健康生活の診断と保健指導 ・法律・制度
第5回	テーマ：妊娠期の保健指導（G.W）（前田幸） 同上
第6回	テーマ：妊娠期の保健指導　（プレゼンテーション）（前田幸） 同上
第7回	テーマ：妊娠期の保健指導　（まとめ）（前田幸） ・健康生活の診断と保健指導 ・妊娠各期の保健指導、母子健康手帳活用法 ・親になる準備への支援方法 ・出産準備教育（育児準備教育） について解説する。
第8回	テーマ：妊娠期の保健指導（前田幸、新郷朋香他） 演習② 日常生活適応への支援方法 妊婦体操・腹帯の着用・イメ―ジェリー
第9回	テーマ：妊婦の支援（１）（前田幸） ・事例に基づいた健康診査・保健指導の方法について解説を行う。
第10回	テーマ：妊婦の支援（２）（前田幸、新郷朋香） 演習③ 妊婦健診・保健指導 ・事例に基づいた健康診査・保健指導の方法についてデモンストレーションを交え解説、演習を行う。 ・ディスカッションを行い、学びや気づきを共有し、レポートにまとめる。

第 11 回	テーマ：妊婦健康診査の技術（１）（前田幸、山田恵、新郷朋香） 演習④ レオポルド触診法、子宮底長・腹囲測定、児心音聴取、骨盤外計測 ・妊婦健康診査に必要な技術を解説、演習を行う。
第 12 回	テーマ：妊婦健康診査の技術（２）（前田幸、山田恵、新郷朋香） 同上 （質疑応答　まとめ）
第 13 回	テーマ：妊婦の支援　（３）　（前田幸、山田恵、新郷朋香） 模擬助産師外来演習の準備 計画立案、助産技術の確認 演習⑤ 模擬妊婦を対象に健康診査の実施・保健指導を実施する。
第 14 回	テーマ：妊婦の支援　（４）（前田幸、山田恵、新郷朋香） 同上
第 15 回	テーマ：妊婦の支援　（５）（前田幸、山田恵、新郷朋香） 同上 （振り返り、ディスカッション、まとめ）
第 16 回	0
第 17 回	0
第 18 回	0
第 19 回	0
第 20 回	0
第 21 回	0
第 22 回	0
第 23 回	0
第 24 回	0
第 25 回	0

第26回	0
第27回	0
第28回	0
第29回	0
第30回	0
テキスト	助産学講座6　助産診断・技術学2　[1] 妊娠期 我部山キヨ子他編 医学書院 助産基礎教育テキスト　第4巻　妊娠期の診断とケア　森恵美他編　日本看護協会出版会 病気がみえる Vol.10　第4版　MEDIC MEDIA 根拠と事故防止から見た母性看護技術 石村由利子編 医学書院 科学的根拠にもとづく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 厚生労働科学研究妊娠出産ガイドライン班 金原出版株式会社 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践課程-改訂版第４版 北川眞理子他編 南江堂 産婦人科診療ガイドライン　産科編 2023　発行：日本産婦人科学会　編集・監修：日本産婦人科学会/日本産婦人科医会 助産業務ガイドライン 2019　日本助産師会他編・監 日本助産師会出版社 エビデンスに基づく助産ガイドライン　－妊娠期・分娩期・産褥期　2020 一般社団法人日本助産学会ガイドライン委員会　日本助産師会
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	指定図書や参考書などを参考にしてください。必要に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	個人ワークやグループワーク、演習等に関すること、提出した記録物は、授業の中でフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	母性看護学に関する知識と看護技術について復習をしておいてください。 講義や演習で得た知識や助産技術の習得するため、予習・復習をして下さい。 また、ニュースなどを参考に母子にかかわる社会情報にも関心をもって取り組むようにしましょう。 演習では、身だしなみを整えたうえで臨んで下さい。 演習、自己練習時には模型などの教材の取り扱いは丁寧に行い、準備・後片付けも自主的に行いましょう。

	感染予防に留意し行動しましょう。